

令和5年度 中町中学校 学校評価

学校教育目標

思いやり、支え合い、たくましく未来を生き抜く生徒の育成  
「凡事徹底」～ 時を守り 場を清め 礼を正す ～

評価指標

A:非常に良い（達成値が4.0以上4.5未満） B:良い（達成値が3.5以上4.0未満）  
C:課題がある（達成値が3.0以上3.5未満） D:速やかな改善が必要（達成値が3.0未満）

| 観点                     | 項目                    | アンケート内容（取組の状況）   |  |  | 5:とてもそう思う 4:そう思う 2:あまりそう思わない 1:まったくそう思わない |     |     | 自己評価 |                |   |  | 課題と改善方策  | 学校関係者評価 |  |
|------------------------|-----------------------|--|--|--|---|-----|-----|------|----------------|---|--|--|---------|--|
|                        |                       | 教職員  | 保護者  | 生徒   | 今年度評価(点数は評価指標の平均)                         |     |     |      | 学校評価検討委員会で出た意見 |   |  |  |         |  |
|                        |                       |  |  |  | 達成値                                       | 教職員 | 保護者 | 生徒   |                |   | 評定   |  | 観点評定    |  |
| 確かな学力の育成               | 「確かな学力」の定着(基礎・基本)     | 個に応じた支援・個別指導等を充実させて、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている。                                    | お子さまは、漢字の読み書きや数学の計算などの基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。                       | 漢字の読み書きや数学の計算などの基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。                 | 4.0                                       | 3.9 | 4.0 | 4.2  | A              | A | ○例年と比較して教職員の数値が厳しいものとなっている。確かな学力の育成において、現状から課題意識をもつ教師が多いくことが分かる。今後、校内の授業研究や町の学力向上委員会での検討内容について校内でしっかりと話し合いを進め、生徒の学力向上に向けた実践に繋げていきたい。○「確かな学力の定着」については、例年と同じ傾向である。自分の考えを理論的に話したり書いたりすることについて、授業の中で意図的に取り入れていく必要がある。○評価項目の「言語活動の充実」と「ICTの活用」については、教職員の評価が高い傾向にある。新学習指導要領やコロナ禍で急激に進んだICT機器の活用に対応をしている事が考えられる。今後、教育効果の検証等を行い一つ、よりよい授業となるよう研究を進めていく。○「学習評価」については、保護者や生徒の理解が得られている。引き続き信頼される学習評価となるよう取り組んでいきたい。○「家庭学習の指導」については、保護者から高い評価が得られている。生徒の評価については、自主的・計画的という点で低い評価となった。各教科で課題を与えることから計画的に自分たちで取り組むことができるよう働きかけていくよう掛けたい。 | ○ICT機器の活用については、タブレットの活用の様子について保護者から意見を聞いてもよいと思う。<br>○タブレットの家庭での活用について、家庭でも有効に活用することができるよう持ち帰りについて、計画的に運用をするとうい。家庭学習でのタブレットの有効活用を進めていく必要がある。<br>○言語活動の充実については、学校がコミュニケーション能力の育成を図るため、意図して授業改善に取り組んでいることが分かった。引き続きはたらきかけをしてほしい。<br>○ICT機器の活用も大切であるが、実際にノートやプリントに「書くこと」についても大切にしていきたい。<br>○評価については、高い評価を得ていることが分かった。引き続き評価の検証を行い、保護者や生徒の理解の得られるよう努めていただきたい。 |         |  |
|                        | 「確かな学力」の定着(思考・判断・表現力) | 自分の考えを論理的に話したり書いたりする学習等を計画的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の育成に努めている。                         | お子さまは、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりする力が身に付いている。                             | 自分の考えをわかりやすく話したり書いたりする力が身に付いている。                       | 3.7                                       | 3.9 | 3.5 | 3.8  | B              |   |  |  |         |  |
|                        | 言語活動の充実               | 毎時間の授業展開の中に、他者との対話等の言語活動を意識的に取り入れている。  | お子さまは、他者とのコミュニケーションを積極的に行うことができる。                                  | ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組んでいる。            | 4.0                                       | 4.2 | 3.8 | 4.0  | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 学習評価                  | 単元の評価規準を明確にしたり、系統性のある評価規準を作成したりすることで、評価の客観性・信頼性を高めることに努めている。                   | 学校は、学習活動において、お子さまの努力や能力を適切に評価している。                                 | 自分は授業において、自分の努力や能力を適切に評価されている。                         | 4.1                                       | 4.0 | 4.1 | 4.0  | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 家庭学習の指導               | 「ユニバーサルデザイン」の視点に立ち、中町中の共通した授業スタイルによる、すべての生徒にとってわかりやすい授業になるように心がけている            | 学校は、生徒が自主的に学習することが出来るよう、計画的に課題を出している。                              | 家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる。                                  | 3.8                                       | 3.7 | 4.0 | 3.7  | B              |   |  |  |         |  |
|                        | I C T 機器の活用           | I C T 機器を積極的に活用し、効果的かつ効率的、また、生徒の学習意欲を高めるような授業作りに努めている。                         |  | タブレットなどを活用した授業は、わかりやすくとても楽しい。                          | 4.2                                       | 4.3 |     | 4.1  | A              |   | 4.0  |  |         |  |
| 豊かな心の育成                | 道徳教育(規範意識)            | 社会生活を送る上で、人間としてもつべき規範意識を育むよう指導している。  | 学校は、社会のきまりやマナーなどを適切に指導している。  | 社会のきまりやマナーなどを守って生活している。                                | 4.2                                       | 3.9 | 4.3 | 4.5  | A              | A | ○「豊かな心の育成」については、昨年と同様で保護者や生徒からは高い評価を得ることができた。規範意識や人権感覚については、保護者から一定の評価を得ることができている。人権コアカリキュラムや心の健康教育といった町独自の取り組みについて、今後も大切に取り組んでいきたい。○情報モラル教育については、生徒との教師・保護者の評価に隔たりがみられる。年間計画の中でSNSの講演会やマナー教室を積極的に計画し、情報社会で責任をもって行動できる力を養ってきたい。  | ○情報モラルについては、全国的な大きな課題であると認識している。トラブルも起きており、生徒だけではなく保護者への啓発が大切だと思う。<br>○道徳教育を通じて、規範意識や人権感覚など特に生徒や保護者からの高い評価を得ていることが分かった。日々の生活や人権コアカリキュラム、心の健康教育等、学校の生活全般の中で引き続き大切に取り組んでいただきたい   |         |  |
|                        | 道徳教育(人権感覚)            | 「人権教育コアカリキュラム」を基盤として、すべての教育活動を通じて、自尊感情や他者への思いやり等の道徳性の育成に努めている。                 | お子さまは、自分のことと他人のことを大切にしている。   | 自分のことと他人のことを大切にしている。                                   | 4.2                                       | 3.8 | 4.4 | 4.4  | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 情報モラル教育               | 他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し、情報社会で責任をもって行動できるように指導している。                       | お子さまは、スマートフォンやパソコン等を使用するときは、インターネット上のルール・マナーを理解し、守ることができている。       | スマートフォンやパソコン等を使用するときは、インターネット上のルール・マナーを理解し、守ることができている。 | 3.9                                       | 3.7 | 3.7 | 4.3  | B              |   | 4.1  |  |         |  |
| 健やかな体の育成               | 部活動                   | 生徒が自主的に活動し、挑戦する楽しさや喜びを味わうことのできる部活動の運営を心がけている。                                  | お子さまは、部活動に意欲的に取り組んでいる。（お子さまが部活動に所属している人のみ）                         | 部活動は充実した活動になっている。（部活動に所属している生徒のみ）                      | 3.9                                       | 3.8 | 4.2 | 3.7  | B              | B | ○部活動については、地域展開を見据えて教育委員会と連携を図ってきたい。○健康教育については、健康的な生活習慣や食習慣を心掛けることができるよう教科や保健室から積極的に働きかけていきたい。  | ○コロナ禍の影響もあり、中学生の体力低下の影響があることが分かった。体育や学校行事、部活動などの機会で体力向上を図っていただきたい。<br>○部活動については、町と連携を図り地域展開を進めている状況は理解した。今後、スポーツ推薦などのチャンスがなくなること   |         |  |
|                        | 健康教育                  | 正しい生活習慣や食習慣を身に付け、自らの健康管理ができる生徒の育成に努めている。                                       | お子さまは、正しい生活習慣や食習慣が身に付いている。   | 正しい生活習慣や食習慣に気を付けて生活している。                               | 4.0                                       | 3.8 | 3.9 | 4.2  | A              |   | 3.9  |  |         |  |
| 特別支援教育の充実              | 学習指導                  | 「ユニバーサルデザイン」の視点に立ち、中町中の共通した授業スタイルによる、すべての生徒にとってわかりやすい授業になるように心がけている            | お子さまへの、学校の授業はわかりやすく工夫されていると思う                                      | 授業は工夫されていてわかりやすい。                                      | 3.7                                       | 3.3 | 3.9 | 4.0  | B              | B | ○校内研究で進める中町中スタイルについて、研究授業だけではなく日頃から意識して実践していく必要がある。  | ○北はりま特別支援学校との交流は、とても素晴らしい取り組みだと思う。教師の評価は低いが、教師の支援の一生懸命さは生徒に伝わっていると思う。  |         |  |
| 生徒指導の充実                | 生徒指導(規範意識・態度の育成)      | 学校や社会でのきまりやマナーについて、全職員が共通理解のもとで、生徒の規範意識の向上に努めている。                              | 学校は、社会のきまりやマナーなどを適切に指導している。  | 社会のきまりやマナーなどを守って生活している。                                | 4.3                                       | 4.1 | 4.3 | 4.5  | A              | A | ○「規範意識・態度の育成」については、学校の指導について保護者の評価をいただいている。また、「共感的内面理解」についても、生徒・保護者に評価を得ている。引き続き生徒に寄り添った指導を心掛けていきたい。○「いじめ対策」についても、いじめ見逃し「0」を目指して生活相談シートや日々の日記を中心に、いじめを許さない学校運営を継続していく。   | ○いじめの定義が昔と違うことは理解した。学校が被害・加害双方から意見を聞き、丁寧に対応していることが分かった。ただ、丁寧さも大切だが、過干渉にならないことも大切であると思う。<br>○いじめの対応について、支援や指導は子どもや事案に応じて対応していることが分かった。ただ、教師が1人で問題を抱え込まないような組織であることが大切だと思う。  |         |  |
|                        | 生徒指導(共感的内面理解)         | 教育相談等を通じて、一人一人の生徒の内面を共感的に理解し、信頼関係に基づいた指導に努めている。                                | 学校は、お子さまの悩みなどを理解し、相談にのっている。  | 先生は、悩みや困ったことなどを理解し、丁寧な指導をしている。                         | 4.0                                       | 4.0 | 4.0 | 4.0  | A              |   |  |  |         |  |
|                        | いじめ対策                 | 「いじめの見落とし0」、「初期対応がすべて」という意識を持って未然防止に努めるとともに、早期発見に取り組み、保護者と連携をとりながら適切な指導を行っている。 | 学校は「いじめを許さない」という姿勢で早期発見に努めるとともに、保護者と連携をとりながら適切に指導を行っている。           |  | 4.0                                       | 4.0 | 4.0 |      | A              |   | 4.1  |  |         |  |
| 生徒の社会的自立に向けた取組         | 特別活動                  | 特別活動を、生徒会等を中心に生徒一人一人が主体的に取り組めるように計画・実践している。                                    | お子さまは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。                                      | 学校行事や係の活動などに意欲的に取り組んでいる。                               | 4.1                                       | 3.7 | 4.3 | 4.4  | A              | A | ○特別活動については、生徒や保護者とも高い評価を得ることができている。コロナ禍を経て、改めて学校行事の大切さを実感している。引き続き、生徒を成長させる視点をもって学校行事の計画をしていきたい。○キャリア教育については、トライやワークがコロナ以前の形で実施出来た事もあり、教職員の評価が高くなっている。○進路指導については、例年「3.7」と生徒の評価が低くなっていたが、卒業後の進路について生徒が具体的なイメージをもtuことができるよう心掛け少しずつ改善が見られてきた。今後も引き続き自分たちの将来をイメージすることができるようキャリア教育を充実させていきたい。   | ○キャリア教育について、保護者の設問については聞き方を工夫する必要がある。例えば、「トライやワークのとき、お子さまと仕事について話をされましたか」などとするればよいのかと思う。<br>○進路指導については、これから各学年に合わせて実施してほしい。  |         |  |
|                        | キャリア教育                | 「トライやる・ウィーク」をはじめとする体験活動等を通じて、生徒の社会的、職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実にも努めている。     | お子さまは、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等についてしっかりと考え、夢や目標の実現に向けて努力している。        | 働くことの大切さを理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している。                     | 3.9                                       | 4.4 | 3.5 | 4.0  | B              |   |  |  |         |  |
|                        | 進路指導                  | 子どもの将来を見通した長期的視点に立った上で、学年に応じた系統性のある進路指導を行っている。                                 | 学校は、学年に応じた適切な進路指導を行っている。   | 卒業後の進路についての目標を考えている。                                   | 4.1                                       | 4.3 | 4.1 | 3.9  | A              |   | 4.0  |  |         |  |
| 防災・安心安全な環境整備           | 防災教育                  | 「消防計画書」に基づいた避難訓練や学習を実施し、防災意識の向上に努めている。   | お子さまと、災害時の避難方法や避難場所を確認するなど、防災についての話をしている。                          | 災害時の避難方法や避難場所を意識しながら生活している。                            | 3.5                                       | 4.3 | 2.9 | 3.2  | B              | B | ○防災教育については、本年度は県の研究指定を受けて取り組んでいる。学校だけではなく、地域とも連携を図り防災教育に取り組むことができた。その成果が生徒の評価に反映されてきた。保護者に対しては、家庭での防災意識が高まるよう、丘山通信(学校だより)を通じて今後も発信していきたい。○施設・整備については、常に危険な箇所がないか確認し、環境を整えていきたい。  | ○防災教育については、本年度は県の研究指定を受け、熱心に取り組んでいることが分かった。保護者の数値については例年低くなっているが、取り急ぎ学校が手立てする必要はないかと思う。保護者への設問については、検討の余地があると思う。<br>○消防と連携をして災害を想定した訓練に取り組んでいた。  |         |  |
|                        | 施設・設備                 | 施設・設備の定期点検と拡充を行い、校内の安全を確保するとともに、教育効果を高めたいけるような環境の整備に努めている。                     | 学校の施設・設備は、お子さまが学習や部活動に取り組む上で、安全で充実している。                            | 学校の施設・設備は、学習や部活動に取り組む上で、安全で充実している。                     | 4.0                                       | 3.8 | 4.2 | 4.1  | A              |   | 3.8  |  |         |  |
| 地域から信頼される開かれた特色ある学校づくり | 保護者・地域との連携            | P T A 活動や学校行事・懇談会等を通じて、保護者・地域との連携を深め、学校への教育的支援体制を作り上げている。                      | 学校は、保護者の皆様や地域との連携を通じて、教育活動を進めている。                                  |  | 4.2                                       | 4.3 | 4.1 |      | A              | A | ○PTA活動では、コロナ以前の取り組みが戻りつつある。内容については、会員数の減少もあるので必要な取り組みとそうでない取り組みについて十分に検討をし、効果的な活動となるようPTAや地域と連携していきたい。○情報公開については、丘山通信やHP等で積極的に発信できている。オープンスクールや講演会など、生徒の成長を意図して連携して実施できるよう計画していきたい。○保護者対応については、引き続き丁寧な連絡を心掛けていく。○学校組織運営については、保護者・生徒から高い評価を受けている。教職員については、「学校経営の基本方針」の共通理解を一層図り、教育活動に臨むよう学校長のリーダーシップの下取り組んでいく。○学校満足度については、昨年度と同じ「4.2」と高い評価を得ている。引き続き生徒や保護者の思いや願いに寄り添いながら、一人一人の成長のため指導していきたい。○研究推進や町の学力向上委員会と連携を図り、授業改善に取り組んでいく。   | ○学校だよりやHPで情報公開を積極的に発信しており、学校の様子がよく分かる。引き続きお願いしたい。<br>○HPについては、PTAからの発信もしてほしい。<br>○学校評価については、昔は情報公開をしていなかった。情報公開をすることはとてもよいことだと思う。これからも継続してほしい。<br>○学校が写真等、個人が特定をされない様な配慮をしていることを理解した。<br>○自転車の乗り方について、他の地域では横断歩道を渡る際に自転車から降りて横断している。本校でも交通安全教室等を活用して指導していく必要があるのではないかな。  |         |  |
|                        | 情報公開                  | 学校HPや通信、参観日・オープンスクール等を通じて、保護者・地域への積極的な情報公開・提供に努めている。                           | 学校は、通信や参観日・オープンスクール・ホームページなどを通じて、保護者の皆様に教育活動内容を積極的に公開し、わかりやすく伝えたい。 |  | 4.4                                       | 4.4 | 4.4 |      | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 保護者への対応               | 保護者からの相談・要望に対し、誠実な対応を行っている。また、生活指導上の問題点等については、保護者との情報共有を迅速、かつ、適切に行っている。        | 学校は、保護者の皆様からの相談・要望に対し、誠実かつ適切に対応している。                               |  | 4.3                                       | 4.3 | 4.2 |      | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 学校組織運営                | 「学校経営の基本方針」のもと、組織の一員として、密な情報交換を図りながら、能動的・創造的に教育活動に当たることができている。                 | お子さまは、充実した学校生活を送っている。  | 充実した学校生活を送っている。  | 4.2                                       | 3.8 | 4.4 | 4.3  | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 学校満足度                 |  | 中町中学校の教育に満足している。   |  | 4.2                                       |     | 4.2 |      | A              |   |  |  |         |  |
|                        | 研修・研究体制               | 研究・研修体制を確立し、研究授業や職員研修会の充実を図り、各自の資質・能力の向上に努めている。                                |  |  | 3.8                                       | 3.8 |     |      | B              |   | 4.2  |  |         |  |

全体を通した評価・評定

4.0

4.0

4.0

4.1

4.0